

平成26年度事業評価報告書（施設名 県立甫喜ヶ峰森林公園）

項目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 運営に関する評価	①限られた職員体制の中で、公園の管理運営を適切かつ効率的に行っている。また、地元住民や団体、ボランティア等との連携も図り、利用者サービスの向上に努めている。 ②施設内の徹底した清掃・整備だけでなく、利用者の安全確保のための心がけ、取り組みができています。 ③地震等を想定した緊急時対応体制の確立や訓練の実施など危機管理がなされている。	①森林公園としての魅力ある公園づくりの検討が望まれる。
2 事業実施に関する評価	①学校対応として体系的な森林環境学習プログラムによる支援を行っている。 ②トレイルランニング等発展性のある事業を展開することで、これまでにない利用者層の取り込みを図っている。	①森林公園の特長を活かした目玉となる事業づくりが望まれる。
3 利用実績	①8月の悪天候により入園者数の大幅な落ち込みがあったにもかかわらず、新しい事業展開等利用促進の取り組みにより、5万人台を維持している。	①遠足など学校行事による公園利用に対して、付加的な環境学習や園内見学などの提案、実施が望まれる。 ②長期的な視点での公園づくりが望まれる。
4 収支の状況	①新規事業により収入が大幅に増加している。	
総合評価	①学校対応として体系的な森林環境学習プログラムによる支援を行っている。 ②限られた職員体制の中で、公園の管理運営を効率的に行っている。また、地元住民や団体、ボランティア等との連携も図り、利用者サービスの向上に努めている。 ③トレイルランニング等発展性のある事業を展開することで、これまでにない利用者層の取り込みを図っている。 ④遠足など学校行事による公園利用に対して、付加的な環境学習や園内見学などの提案、実施が望まれる。 ⑤森林公園としての魅力ある公園づくりが望まれる。	B

- 【評価の基準】 A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

業務の改善についての意見

改善を求める事項
①学校関係による遠足行事などの公園利用に対して、付加的な環境学習や園内見学などの提案、実施が望まれる。 ②長期的な視点での森林公園としての魅力ある公園づくり及び利用者に対する森林公園の特長を活かした事業等の企画、実施が望まれる。
今後、充実させて取り組むべき事項
①公園の特長を活かして学校行事等との連携を図った取り組みの強化 ②魅力ある森林公園づくりの検討